

<p style="text-align: center;"><u>Devotion Guide/ユースマナ</u></p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/4(月)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ1:1-13</h2> <p>みんなにとって、イエスキリストはどんな存在だろう？私はイエス様を信じた当初、神様ってものすごく大きくて、私たちを遠くから見ていてくださる方だと思っていた。でも段々学んでいく中で、いつも私の側にいて、とても近い存在なんだなあ実感することができた。 では神様を近くに感じるってどうやって？そしてどんなことだろう？私は、聖書の御言葉に日々触れて、神様と交わることなんじゃないかな、と思う。「ことばは神」というように、その1箇所1箇所が私たちへの愛のこもったメッセージなのだと思う。 もっともっと御言葉に触れて、神様を偉大で私たちをいつも包み込んでくださる方だということを感じていきましょう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/5(火)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ1:14-28</h2> <p>15節を2回読もう！ 1) 昨日の箇所と合わせると「この方」とは誰のことかな？ 2) ヨハネは「この方」について何を思ったかな？ 3) オイコスの友達にユースの友だちのことや教会で楽しかったことを話したことがあるかい？それらはみんなイエス様が与えてくれた立派な証だよ。自分がどんなふうに証しできるか思いついたことを書いてみよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/6(水)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ1:29-42</h2> <p>ヨハネは「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」(29)とイエスを指し示すことで、福音とは何かを宣言した。イエスこそ、すべての問題の根である罪を完全に癒す唯一の救い主だったからである。「取り除く」ということばは、背負うという意味を持つ。当時のユダヤの人々は、ローマ帝国の抑圧からの解放し、生活の繁栄を取り戻してくれる政治的なメシアを待ち望んでいた。しかし、本当のメシアとは、彼らの期待とは裏腹に、自らが人々の罪を背負う方だったのである。 この福音を伝えるよう、主が私たちを選んでくださった(15:16)。主が私を選ばれた目的について考えてみよう。</p>
<p style="text-align: right;">2022/7/7(木)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ1:43-51</h2> <p>51v. 「まことに、まことに、あなたがたに言います。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るようになります。」 これは天の門が地に向かって開かれることを意味する。旧約と新約の間にある沈黙の400年を破り、罪を重ねる人々を救うために、神様がイエスキリストを地上に遣わされた。 43v 「私に従ってきなさい」というイエスのことばに、宣教や奇跡を行うう姿をピリポも見ていたのだろうが、ここからイエスの弟子として歩むことを選ぶ。 神様を信じる私たちもいわば弟子である。あなたの歩みはどうだろうか？弟子として歩んでいるだろうか？ 弟子としての生き方を考えよう。</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/8(金)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ2:1-12</h2> <p>▶きっと一度は聞いたことのある箇所ではないか。イエスが最初に行われたしるしは、水をぶどう酒にかえる奇蹟だった。「ぶどう酒」に注目してみよう。 ▶イエスとぶどう酒というと、最後の晩餐を思い出す(ルカ22章)。ぶどう酒は、イエスが私たちの罪のために流してくれた血を象徴していた。今回の最初の奇蹟を通して、イエスはご自分の犠牲によって成就される救いの計画を示したのではないだろうか。 ▶宴会の世話役は、運ばれてきたぶどう酒の真実を知らなかった(9)。同じように、十字架につけられたイエスを信じない人々には、主の愛も救いの意味も隠されている。 ▶あなたが絶えず愛してくれるお方がいる、という希望をもって今日を喜んで生きよう。</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/9(土)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ2:13-25</h2> <p>みんなは毎週の礼拝にどんな気持ちで来ているかな？ イエス様が十字架にかかってよみがえるまで、礼拝の時には献金に加えて『傷のない動物』を献げることが必要だった。それをするには、動物を手間ひまをかけて育てて、長い道のりも大事に連れてこなければいけなかったんだ。 だけどいつしか、会堂にはその場で買えるささげ物用の動物が売られるようになっていた。本当は神様を愛して感謝して、大事に準備するものだったけど、それを面倒に思い、軽く見るようになってしまったんだね。それを見たイエス様は激怒してその全てを追い出していた。 私たちが神様を愛して、礼拝に心を向けていくことをイエス様は喜ばれる！前の日に早く寝る、献金用に財布から用意をする…などなど、なにができるか考えてみよう。</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/10(日)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ3:1-15</h2> <p>ニコデモの物語を思い浮かべながらもう一度今日の箇所を読もう！ 1) ニコデモは何をしにイエス様を訪問したのだろうか？ 2) ニコデモはどんな立場の人だったかな？イエス様との年齢差も想像してみよう。 3) 立場も違うし年も若いイエス様に真理を求めたニコデモは、この出来事のあと、それを見つけ(Find!)イエス様の弟子となった(19:39)。ニコデモの姿から、求め方についてどんなことが学べたかな？</p>